【様式１記入上のポイント】

研究協議「子どもの障害の状態等に応じた指導」

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 |  | 学校名 | 学校 | 氏名 |  |
|

１　児童生徒の実態

対象児：Ａ児（　小１年　／　男　／　主な障害：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |
| --- |
| ○  ・子どものやろうとしていること、興味・関心、できることを把握。→目標、指導内容、手立てに活用。  ・障害の状態、発達や経験の程度等、子どもの全体像を六区分の視点から見て、発達の遅れや不均衡を把握。  ● |

　○うまくいっているところ

　●つまずいている中でもうまくいっているところ

２　指導目標（長期）　※１年間の目標

|  |
| --- |
| ・  ・短期目標を段階的、系統的に取り上げた先を見通して設定。１年間で特に身に付けさせたい力を設定。  ・弾力的に対応し、指導目標を適切に修正、変更。 |

３　指導目標（短期）※９～１２月の目標

|  |
| --- |
| ・  ・実態の「○うまくいっているところ」を参考に、具体的で達成可能な目標を設定。（～の場面で、～を使って～しようとする　等） |

４　指導目標達成のために必要な項目

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 健康の保持 | 心理的な安定 | 人間関係の形成 | 環境の把握 | 身体の動き | コミュニケーション |
| ・自立活動の目標達成のため、２６項目六区分のうちで、主に必要な項目や相互に関連する項目を確認。 |  |  |  |  |  |

５　具体的な指導内容

|  |  |
| --- | --- |
| 指導内容と  ・主体的に取り組み、成就感を味わいつつ自己を肯定的にとらえることができる内容。  ・改善・克服する意欲を喚起する内容。  ・進んでいる側面を更に伸ばす内容。  ・自ら環境を整える指導内容。  手立て |  |

６　指導の経過（児童生徒の様子）

|  |
| --- |
| ・  ・指導の経過が分かるように詳細に記入。  ・経過の中で、指導目標等を変更した場合には、その経緯も記入。 |

７　評価（児童生徒の変容）

|  |
| --- |
| ・  ・短期目標における達成状況を記入する。  ・指導の成果がみられた場合はうまくいった要件を、指導の改善が必要な場合はその理由を記入する。 |

８　今後の課題及び具体案（指導者の手立て）

|  |
| --- |
| ・  ・児童生徒が主体的に取り組み達成感を味わえる指導だったか、発達の進んでいる側面を生かした指導だったかという観点から記入する。  ・また、教師自身の児童生徒とのかかわり方を振り返って、反省及び改善案を記入する。 |

９　通級による指導の取組を、通常の学級において生かすための取組及び結果

|  |
| --- |
| ・取組の状況を具体的に記入する。  ・取組の成果がみられた場合はうまくいった要件を、取組の改善が必要な場合はその理由を記入する。 |